

令和3年度 千曲市日本遺産推進協議会 会議録（要旨）

・開催日時・・・令和3年4月22日（木） 午後1時30分～3時

・開催場所・・・千曲市役所 4階 応接会議室

・出席者・・・別紙のとおり

・会議要旨

1 開会（副会長）（進行：日本遺産推進室長）

2 会長あいさつ

3 委嘱書交付

令和3年度新たに委員となった方に委嘱書を交付

4 役員の選出

事務局より説明

監事を務めていただいた南澤委員が退任されましたので、監事の指名を規約第5条第2項により、会長から指名。

監事：戸倉上山田商工会 会長 高村委員

5 自己紹介

6 議事（議事進行：会長）

委員人数報告 委員15名中11名出席4名委任状 規約第9条第2項により
会議成立

(1) 議案第1号 令和2年度事業報告について

(2) 議案第2号 令和2年度収支決算（見込）報告について

議案第1号及び第2号は事務局より一括説明。【議案書P1～3】

【質疑】無し ⇒ 原案どおり承認

(3) 議案第3号 令和3年度事業計画について

(4) 議案第4号 令和3年度収支予算について

議案第3号及び第4号は事務局より一括説明。【議案書P4～6】

【以下、質疑】

委員1

令和2年度収支決算にもかかわることですが、調査研究事業が昨年度363万円、これは継続ということで、今年度上積みというかたちで考えていいのでしょうか、そうすると612万8千円になるわけですが、そういうことでよろしいでしょうか。

事務局

調査事業について、令和2年度分にやっていただいた事業については、継続の部分もあり、それは実際の日本遺産の関係を進めるためだけの最初の事業になりますので、今年度もプラスアルファの部分も多少ありますけれども、おおむね同じような事業をしていただく、そういうことで、一応、令和2年度分と3年度は別で発注するという形になります。

委員1

そうすると612万8千円の予算をもってやるということですね。我々、様々な団体でコンサルタント契約をさせていただきます。特にまちづくりとか、正直言って、コンサルタントの意見がうまくまちづくりに反映したことはほとんどないわけです。月の都については、非常に市民の関心が高いし、多くの関わりをもった方々も通年関わりあって、長い歴史のなかで、これに関わっているわけですが、そういったなかで、市民とともに月の都に対しての推進をしていかなければならないなかで、非常に期待の高いものがあります。

については、予算の多い少ないはともかく、いずれにしても数字だけみると、非常にまあデザインとかは高くなると思うんですけど、いずれにしても、これからどういった成果を、月の都をこれから何十年も何百年も続くような形での成果を期待したいわけです。それについて、会長のほうからどんな期待をもって、調査研究をしていただいているのか、お話いただければありがたいかなと思っています。

会長

成果に対する期待とご質問ですが、やはり日本遺産はそもそも観光振興を目的としたものと私は認識しているんですけども、それにとどまらず、地域のいわゆる宝というものを市民が共有して理解をする、そして、先程のふろしきやさんの説明にも出てきましたが、シビックプライドですね、市民としての誇りを醸成するというのも成果にあげられると思いますが、それは数字的に目に見える成果は、例えば観光の

来客数ですとか、消費額によってそれは成果としてあげられるが、それにとどまらず、目にみえない成果、市民の私たち一人一人に日本遺産に対する理解、そして多くの市民が誇りを持てるような意識が変わっていくという、そういうことも成果としてあげられるのではないかと私は考えているのですが、数字にすぐにはあわせないものですが、こうして数字にあわせるものは明確に目標立てて着実に事業を推進していくということがあげられると思いますし、また、目にみえない誇りですとかそれに関する成果は、これについては数字はわからないが、教育委員会ともしっかり連携して、特に若い世代に広めるということもそうですし、また生涯学習として市民の年代を問わず、あらゆる市民にこの日本遺産についての理解を広めていくという事業を着実に進めていくことを期待しております。

委員 1

ぜひ成果をあげていただきたいと思っています、期待しております。ついては、コンサルタントの方には、ぜひ棚田を、あるいは姨捨のことにに関して、何年間も何十年間も携わって、これからも携わっていただかなければいけないので、ぜひそういった市民の声を反映していただくような、そういう市民の声を聴いたということもあまり聞いていないので、ぜひ市民の声を反映していただくようなことで、成果をぜひ期待していますので、よろしく願いいたします。

委員 2

意見というほどではないですが、教えていただきたいところが3点ほどございます。令和3年度事業計画のなかで、1点目が、ガイドを40名程度とあるが、どういった人をガイドにするのか知りたい、人物像というか、どういった人を想定しているのか。

2点目が、6月20日の300名を集めてやる催し物、これが、マックスの収容人数なのか、あるいは、新型コロナの状況によっては、若干方式も、いくつかの方式を考えているのか。

3点目として、既に議論があったかもしれませんが、日本遺産センターという固い名前ですが、もう少しやわらかい名前の検討とか、サブタイトル、サブネームをこれから作るのかどうなのか、進行中なのか、教えていただきたい。

事務局

ガイドの関係についてのお答えですが、昨年度コロナの関係もありまして、概ね40人を上限として募集して、40人近い方が講座を受けられました。今回も一応目標は40人としているが、実際ガイド終わってみると、なかなか今回はガイドを見合わせて、もう一年勉強した後にガイドをやりたいという方も実際いらっしゃいます。ですので、ある程度ガイドの上限を高めを設定しておかないと、実際にそのなかで講座受けてもガイドやられる方かなり少なくなる可能性も見込まれますので、そういった面を含めての目標として考えています。

これから実際にガイドをいろいろやっていただくわけですが、実際のところ、コロナ禍ということで、すぐにガイドが動きだせる状況にないという事実もございますので、今後、どういうふうにしていくか昨年の成果をあわせながら、今後検討していきたいと思います。

人物像については、基本的には市内の方で、地元のことをよく知っている方、それから地元のことを地元の立場から理解し説明できる方、プロのガイドの人よりは、東京や外国から来た方に、「この地元ってこういう素晴らしいところなんだ」と、魅力として地元の言葉で語っていただく、そういう方を理想像として私たちは考えています。

6月20日の記念講演会の関係ですが、上山田文化会館の収容人数が952名となっています。客席の間隔を大分開けて300名が限度かなと考えています。ですが、コロナ禍のため、情報発信としては、中止や延期もありますとしてお示しする予定です。

日本遺産センターのサブタイトルについてですが、日本遺産センターの名前はこのような名前をつけさせていただいておりますが、今後、飲食スペースができあがる予定です、飲食スペースは、市のほうで管理し、事業者に貸し付ける予定です。貸し付けをした場合に、事業者さんが「何とか庵」とか、「何とか食堂」みたいな名前をつければ、サブタイトルをつけるのも良いかなと考えています、その辺は臨機応変に考えていきたいと思っています。日本遺産センターの名称自体は、条例にもあるのでこのままの名前で、センターとしてはそのままの名前で進めていきたいと考えています。

委員3

ガイドのことですが、去年40人で私もその一人でした。補足させていただくわけではないですが、地元のボランティアガイドの人も多かったような気がします。

そのときに、私も「こういうの受けているよ」とフェイスブックでアップしたら、市役所の友人が「そういうのあるの?」と言っていたので、今度の40人の募集の仕方はどういう方法なのか。

十か所に案内看板やのぼり旗を作ることですが、昨日、たまたま別所温泉に行きまして、別所温泉の夫神岳という山に登った。別所温泉、上田市の日本遺産の非常に重要な山なのですが、一切、日本遺産の説明が無かった、ボロボロの古臭い看板しかなかった。この夏は冠着山登山の事業が入っているが、それまでに冠着山の頂上に日本遺産の説明版があれば格好いいなと思っているので、看板つけるなかで提案させていただきたい。

のぼり旗については、別所温泉街で日本遺産ののぼり旗が結構目に入りましたので、今度の千曲市の独自のロゴマークの入ったのぼり旗あれば、われわれ旅館も玄関に飾れば協働意識にもなるし、観光客の目にも入り興味も引くかもしれないし、そういうことも可能なのか。のぼり旗はどこまで広がる予定ですか。

事務局

ガイド養成講座の情報発信ですが、今までは市ホームページのみだったんですが、市ホームページのほかに、日本遺産「月の都千曲」のホームページも出来上がっています。そこにSNSもからめて、全部作ってあります。市報にももちろん載せるが、市民の方がメインになると思いますが、いろいろな情報媒体を使いまして、やっていきたい。委員さんもそういう記事を目にしましたら、「こういうのやっているよ」と委員さんからも情報発信していただければと思いますので、よろしくお願いします。

説明看板ですが、冠着山登山もありますので、それができるまでに設置できればと考えています。できるだけ早く作って、設置していかなければ、情報発信遅れてしまうので、前倒しでどんどん早くやっていければと考えています。

のぼり旗、何基とするかまだ計画していないですが、いろいろなところに、市役所、日本遺産センター、蔵の町、温泉だとか、お客さん、人が来場するようなところについては、どんどんのぼり旗を立てていただいて、PRしていきたいと考えています。それも含めて検討させていただいて、できるだけ早く作っていきたいと考えています。

委員4

昨年暮れの会議で申し上げたことと同じことを申し上げますが、一般の農家の皆様の説明会をぜひやっていただきたい。今日午前中、私ども棚田の役員会を行ったところ、役員の方からも早めにやっていただきたいとの意見がございました。

それともう一つ、棚田の道路が砂利道でかいてしまって、4WDでないと、車があがっていかない、農林課でもどこの課でもいいんですが、舗装やっていただけないでしょうか。この間、女性の人が転んで頭抑えていたなんて話もでていましたので、何とかその辺のところをお願いしたいと思っています。

事務局

今の道路の改良・整備について、日本遺産の関係もございましたので、日本遺産推進室で受けさせていただいて、事務局のほうから、経済部、また文化財にもなっているので、その辺も含めてよく相談させていただいて、できるだけ早く整備をしていかなければならないと考えています。整備ができるかも含めて、よく相談させていただいて、私たち日本遺産推進室のほうで受けさせていただいて、いろんな課のほうと調整させていただいて、やらさせていただきたいと思います。

説明会ですが、昨年度もやるという話がありましたが、コロナ禍ということで行っていなかったのですが、一応、日本遺産推進室ができたので、来月中にできればと考えています。ただ、コロナ課ですので、どういう状況になるか、わかりませんが、5月もしくは6月の頭ぐらいまでには、地権者、保全団体さん含めましてご通知申し上げて、日本遺産はこういうものですよという説明会を考えておりますので、よろしくお願いします。

3・4号議案

異議なし

原案どおり決定

(5) その他

委員 1

今回、29の文化財、このうち私が私財を投げ打って2つ、市のほうへ寄付させていただいたという、責任があるかたちで、ぜひともこの日本遺産が千曲市発展のために寄与できるということを期待しておりますので、よろしくお願ひします。

先程、案内板ということで、姨捨山がいいのか、どこがいいのかということで話がありました。商工会議所では、旅館組合の畑山さん、観光局若林会長さんともちょっと話し合っ、先程、商工会長高村さんともお話しさせていただいて、商工会議所を中心に、案内板、やっぱり我々が観光地行ったときに必ず、ただ見るだけじゃなく、やっぱり、なぜ千曲市さらしなの里が、あるいは冠着山が、そして棚田が、そういったものが、なぜ月の都という形で認証されたかということが一番大事なんですね。

それをぜひ、特に藤原定家の「月の都に契りありて」の碑とともに、「我が心慰めかねつ」のこの碑をぜひ建立していただいて、必ず、だいたい私はそういった歴史とか文化とか好きなもので、そういった案内板をかならず読む、大勢の方もそれしかみるところがないもので、

ぜひ、失礼ですけれども、俳句もいっぱいかいてありますが、数限りなく、

やっぱり一番、月の都のもととなった藤原定家の歌を、日本文化、特に女流文化のもととなった「我が心慰めかねつ」のこの碑をぜひ建立しただけならば、必ずや観光の目玉になり得ると思ひますので、これはもう既に申し入れはしてありますが、実現していただければ、特に観光事業に関しては寄与できるのではないかと思ひて期待している、よろしくお願ひいたします。

事務局

いまいただいた提案については、経済部、日本遺産推進室も含めて検討している、よろしくお願ひいたします。

7 報告

ご報告する内容につきましては、昨年12月28日の当協議会で議題となりました日本遺産に認定された「月の都 千曲」の「千曲」の名称を「さらしな」へ改称してほしいという要望を受けて事務局で検討した経過について改めてご報告であります。

改称について、県教委を通じて文化庁に確認したところ、

- ・認定された名称を変更することは可能ではあるが、名称の変更は、ストーリー等の内容に大きく影響することが想定され、認定審査の議論にも影響することから、名称の変更にあたっては慎重に審査する必要がある。過去5年間、名称変更の申請は一度もないとの回答がございました。
- ・また、申請があれば、文化庁で再審査することになるが、現在、日本遺産認定に係る審査機関である文化庁の「日本遺産認定審査会」は解散しているとの回答がありました。

申請の経過としては、これまで4回の文化庁との申請協議の中で、「さらしな」では範囲が狭く認定は難しいとの指摘を受けたことから、千曲市全域に月に関わる文化があるということで、今回認定になった「月の都 千曲」で申請したという経過でございます。

事務局では、文化庁の見解を踏まえ、改称についての申請は行うべきではないと考えております。「月の都」として認定されたことを大事に、これを活かしていくことが何よりも大切だと考えております。

その理由は、先ほども話ししましたが、申請段階から「月の都 千曲」で申請するようとの文化庁からの指導があったこと、再審査にかけられても、再度認定になるとは限らず、不透明であることや、今回の認定にあたり評価された「千曲」の名称が市内全域で月に関わる文化があるということ、観光上の重要性「月の都 千曲」という名前を入れることが千曲市＝月の都というアピールになることから、名称の変更申請は行うべきでないとの検討結果に至りましたので、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

なお、「さらしな」という歴史的な名称につきましては、説明文などで丁寧に情報発信をまいりますので、委員皆様のご示唆、ご教示をお願い申し上げます。

以上、ご報告でございます。

質問なし

8 その他
なし

9 閉会（副会長）